

<2030年のSDGs達成に向けた経営方針と目指す姿>

地域や森林所有者の負託に応えうる自立的経営を実現し、併せて地域の様々なニーズに即し、地域の特性を活かしながら「地域林業のマネジメントができる森林組合」を目指す。

<SDGsに関する重点的な取組み及び指標>

三側面 (分野に☑)	SDGsに関する重点的な取組み	指標 (更新時に向けた数値目標)
☒ 環境 ☐ 社会 ☐ 経済	林産事業の強化	木材原木の取扱量(年間) 2023年 7000m ³ →2026年 9000m ³
☐ 環境 ☒ 社会 ☐ 経済	協同組合として組合員に信頼される組織体制の確立	法令遵守研修(年間) 2023年2回→2026年3回
☐ 環境 ☐ 社会 ☒ 経済	人材確保及び育成	新規採用(年間) 2023年2人→2026年3人

<パートナーシップ>

林業建設業連携の充実を図る(地元建設業者5社と連携協定締結)
森林組合等の林業事業体が既存の人材と機材やノウハウ等を有効活用できる建設業者と連携して、路網の整備や間伐等の森林整備を実施する動きは、林業の担い手確保を図る上で重要であるとともに、建設業者の兼業化により雇用機会を確保し山村地域の経済活性化を図る

・「SDGsに関する重点的な取組み」には環境・社会・経済の三側面の全てについて、重点的な取組みを記載してください。なお、取組みが複数の分野に該当する場合は、それぞれの分野にチェックを入れてください。
 ・「指標(更新時に向けた数値目標)」には、それぞれの取組みに対する「目指す姿」の実現を念頭に、更新時までの数値目標を記載してください。
 ・「パートナーシップ」には、企業やNPO法人、行政など関係機関との連携を記載してください。

<SDGsに関するこれまでの重点的な取組み及び指標に係る進捗状況>

三側面 (分野に☑)	取組みの状況	前期の指標	実績
☒ 環境 ☐ 社会 ☐ 経済	・林産事業の強化 買取林産の増加や機械導入、作業工程の見直しを実施し、目標年間取扱量を達成できた。	木材原木の取扱量(年間) 2020年 6000m ³ →2023年 7500m ³	8,650m ³
☐ 環境 ☒ 社会 ☐ 経済	・協同組合として組合員に信頼される組織体制の確立 コンプライアンスなどの必要性を再確認するため、外部、内部研修を積極的に行い、年間目標である2回以上を達成できた。	法令遵守研修(年間) 2020年1回 →2023年2回	年間 4回
☐ 環境 ☐ 社会 ☒ 経済	・人材確保及び育成 職業安定所に周知し、就労説明会に参加するなどして、新規採用人数の年間目標を達成できた。	新規採用(年間) 2020年0人 →2023年3人	2021年 1名 2022年 1名 2023年 3名

・「取組みの状況」には、前回登録申請した際の重点的な取組みの実施状況や指標の達成状況を記載してください。指標が未達成の場合は、その理由等も記載してください。